

【 崎津ワクワクまなび大学 】

<第3回> ●教養講座

日 時 6月16日(木)

“(昔は)愉快なパイロット人生”

夢先案内 松本 真二 氏



<第4回> ●健康講座

日 時 7月12日(火)

“人生100年時代をイキイキ過ごすための食生活”

米子市 管理栄養士 堀部 朝子 氏



<第5回> ●家庭教育講座

日 時 8月 2日(火)

“明日の世界を若い人たちに無事に手渡すために”

米子市立福生中学校 校長 安次 里絵 氏



ほっとひといき④⁹

「与えられた人権」

第1回学習講座 三色パステルアートを楽しもう

日 時 7月1日(金)

講 師 3色パステルアートインストラクター

アトリエ HARU まえた はるこ 氏



< 崎津地区子どもふれあい活動 >

2022 !さきつ 宇宙の旅2が開催されました。

日 時 7月30日(土)

場 所 崎津公民館 体育館

講 師 石原 慎吾 氏



< 新生児ご誕生おめでとうございます >

7区 徳永 達樹 様 寿子 様の次女

まお
真緒ちゃん(令和3年12月15日生)

崎津地区人権・同和教育推進協議会
会長 徳永哲郎(7区)

8月3日「人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」(正直言って長すぎる!!)の講演(大阪公立大:阿久澤麻理子教授)によると、「部落差別を実際に見聞きする場面は減っているが、無くなっているのではなく、形を変えながら存在している」とのことでした。そして①法制度が変わり「同和地区」はなくなったが、その場所がわかるサイトがあって、結婚で身元調査に使われるケース②土地の価格が安いことで「財産的価値が低い」と敬遠されるケースが紹介されました。若い世代の多くは、昔のように「親や周囲から聞いて知った」のではなく、学校で「解放令」や「水平社」を習って部落差別と出合っているのですか…

また「マイノリティを守るために施策を『優遇しすぎ』『自分の権利が奪われる』などと感じる被害者感情があるが、本来すべての人に天賦された権利が『取る、取られる』ものに変わっている。このような感情は排外主義を強化する」とのこと。トランプ氏の顔を思い浮かべました。暮らしの中でも、「貸した物」はしっかり覚えているのに、「もらった物」は「どこにやった?」「そんな物あった?」となりがち。人権を守るために努力や学習が大切です。



(「こちらは広報米子市です(笑)」)(22.8.15一区)

